

誰でも簡単!

旬の情報を発信する
横断幕・垂れ幕を作る!

Powered by

MAXART
マックスアート

横断幕・垂れ幕作成講座



開催期間 12/10(金)～12/19(日)

第3回 沖縄フェスタ



本日限り! 有名シェフの味をご試食いただけます!

名店おせち実演会開催中!!



ビジネス力
強化
EXPO2010

コミュニケーションノウハウを学ぶ!

■12月10日(金) 10:30-11:30, 11:30-12:30, 12:30-13:30
■12月11日(土) 10:30-12:30, 12:30-13:30

プレゼンスキル強化セミナー



祝 創設2年目にして後輩
バスケットボール部全国大会出場

数ある販促ツールの中でも、“今すぐ伝えるべき”情報を“より多くの人に”伝えるのに効果を発揮するのが、「横断幕・垂れ幕」です。例えば百貨店やショッピングセンターなどで、催事やセールのお知らせ、新店舗オープンを知らせる垂れ幕などが掲げられているのを、目にしたことがあるはず。また展示会場などでは、開催中のイベントを知らせる横断幕が掲げられ、「今、ここで何を行っているか」がひと目で分かるようになっています。ポスターやのぼりと比べて、より遠くからでも目につく横断幕や垂れ幕は、大きな文字で目を惹き、それを目にした人に強い印象を与えます。

今回は横断幕と垂れ幕の作成ポイントを解説します。ポイントを理解したら、使い慣れたオフィスソフトや、長尺印刷対応ソフトを活用して、横断幕・垂れ幕を作ってみましょう。

！横断幕・垂れ幕作成のポイント

横断幕・垂れ幕を作成する際には、次の7つの要素を決めておきましょう。

①用途

何を知らせたいのか、どこに掲示するのかを決めます。
横断幕にするか、垂れ幕にするかは、掲示場所によって自ずと決まるものです。

②サイズ

横断幕・垂れ幕は、さまざまなサイズのものがあり、実際の掲示スペースにあわせてサイズを決めます。
サイズを決める際には、掲示場所と見る人との距離にも配慮しましょう。

③訴求ポイント

伝えたい情報をひと目でわからせるために、情報は絞ります。
例えば、イベントのお知らせなら、イベント名と開催日だけにします。

④デザインの方向性

訴求ポイントがはっきりわかるように、デザインはシンプルの方が伝わりやすいです。
無地に、コントラストがはっきりする色で大きく文字を入れると見やすく、遠くからでも目立ちます。
また、フォントは一般的なものを使用したほうが、見る人に安心感を与えるものです。
空間演出を目的に使用する横断幕・垂れ幕であれば、写真を入れると効果的ですが、
ここで紹介しているように“鮮度の高い情報を広く伝える”のが目的であれば、
文字を中心にシンプルにデザインしましょう。

⑤デザイン素材

ロゴやイラストがあれば用意します。
あくまで文字が主役なので、文字とつながらないように、スペースをあけて使しましょう。

⑥レイアウト

遠くからでもひと目でわかるように、文字数はできるだけ少なく、シンプルに大きく配置します。
一番伝えたい情報と補足情報は、文字の大きさに強弱をつけましょう。例えば、「沖縄フェスタ」といった
「イベント名」は大きく配置し、「開催期間12月10日～19日」などの補足情報は少し小さめに配置します。
ただし、離れた場所からでも読めるサイズを意識したいものです。

⑦印刷

耐久性に優れた素材を選び印刷します。



情報を端的に伝える「横断幕・垂れ幕づくり」のノウハウ

横断幕・垂れ幕は、サイズが大きいので、近くで見ながら作成していると、ついついデザインに凝ってしまったり、多くの情報を入れてしまいがちです。横断幕・垂れ幕を作る際には、ニュース性の高い情報を“端的”にアピールすることに焦点を置き、シンプルなデザインで訴求するよう心がけましょう。また、垂れ幕は複数本並べて掲示した方が、インパクトが強まります。隣接する垂れ幕同士、地の色や文字色を変えて変化をつけると、文字情報が読み取りやすくなります。

横断幕・垂れ幕デザインの基本フォーマット

①文字

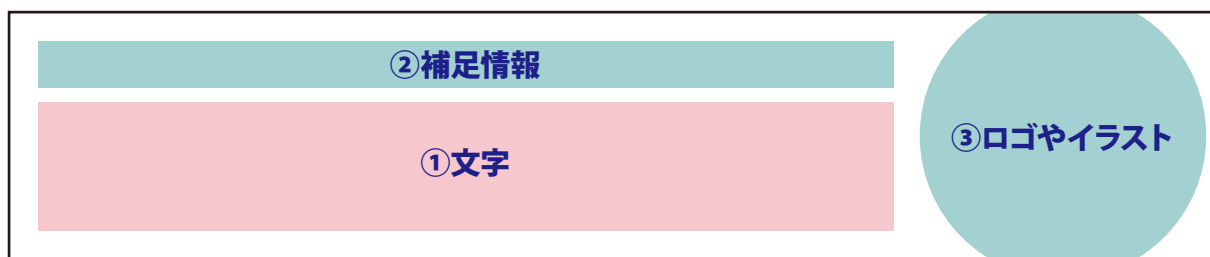
訴求ポイントがはっきりわかるように、文字は大きく配置します。地の色とのコントラストが高い色を選び、文字がくっきりと見えるようにしましょう。フォントもシンプルな方が遠目からでも読みやすいものです。

②補足情報

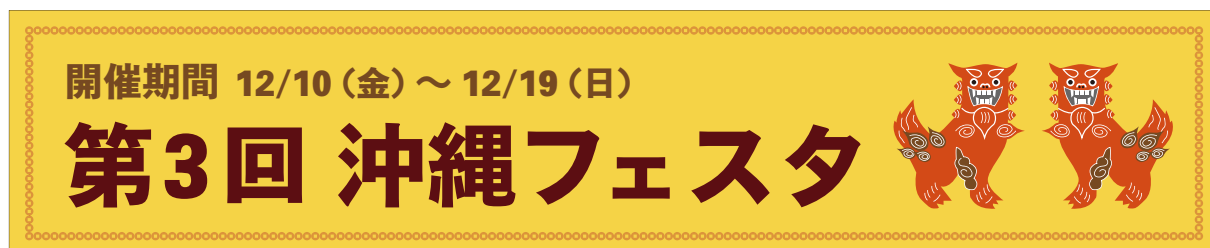
イベントの期間などの補足情報はメインの情報より小さめの文字で書きます。補足情報も端的に伝えられるように簡潔な文を考えましょう。

③ロゴやイラスト

企業や店舗のロゴ、イベントなど告知する情報に関連するイラストを添えると、デザインのアクセントになります。右端か左端に、文字と少し離して配置します。イラストはシンプルなものを選びましょう。



作成見本



情報の新しさを感じさせるのも、訴求力をあげる大切なポイント。色あせたものや、使い古した感のあるものはNGです。薄い色ばかりを使うのも、見た人に「古さ」を感じさせることがあるので注意が必要です。より多くの人にアピールできる横断幕や垂れ幕こそ、“新鮮さ”を常に意識しましょう。定期的で開催しているイベントなどでも、以前作成したデータをそのまま流用するのではなく、色やデザインを変えて新鮮さをアピールしたいものです。内製すれば、こうした修正作業も簡単に低コストでできるので、気軽に新しいものを作成できます。

オフィスソフトでも簡単に横断幕や垂れ幕が作成できます。ここでは、Word、PowerPoint、Excelで原稿を作り、MAXARTのドライバーにある「フィットページ機能」を使って、拡大印刷する手順を紹介します。

1. Wordで横断幕を作る

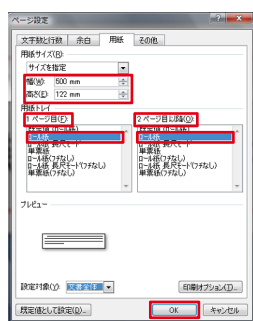
使用ソフト:Word

A1ノビ(24インチ/610mm)幅のロール紙で、長さ2.5m(2500mm)の横断幕を作る手順を紹介します。Wordでは、実寸の5分の1に縮小した原稿を作成します。

※手順、画面は、Windows Vistaの場合。

項目	設定値
[幅]	2.5m(2500mm)の5分の1=500mm
[高さ]	A1ノビ(610mm)の5分の1=122mm

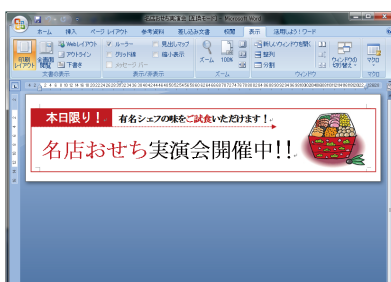
Step1



[ページレイアウト]タブをクリックし、[サイズ]から[その他の用紙サイズ]を選ぶ。[用紙]タブをクリックし、[用紙サイズ]の[幅]と[高さ]を設定する。今回は、[幅:500mm] [高さ122mm]に設定。[用紙トレイ]で

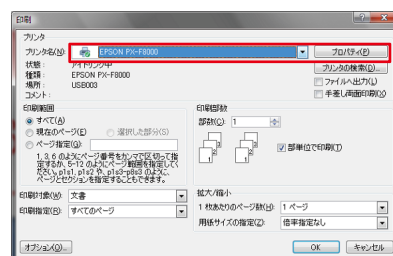
[1ページ目] [2ページ目以降]ともに[ロール紙]を選択。必要に応じて、その他の項目を設定し、[OK]をクリック。

Step2



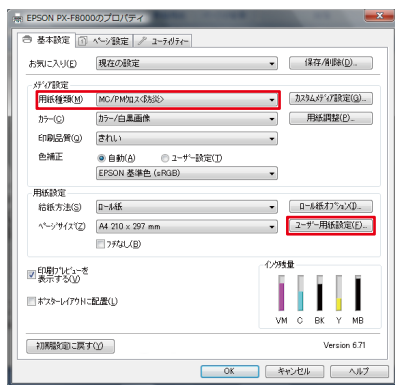
Wordで原稿を作成する。今回は、百貨店の催事場に掲示する「名店おせち実演会開催中」の横断幕を作成した。

Step3



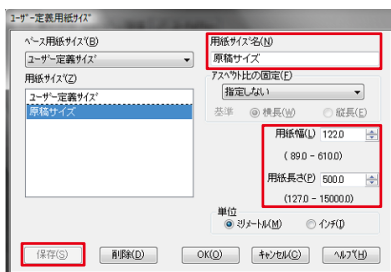
[オフィスボタン]から[印刷]をクリック。設定画面の[プリンタ名]から、使用しているMAXARTを選び、[プロパティ]をクリック。

Step4



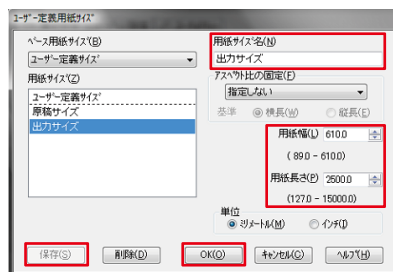
プリンタードライバーの設定画面が表示されたら、[基本設定]画面で[用紙種類]からプリンターにセットした用紙を選び、[ユーザー用紙設定]をクリック。

Step5



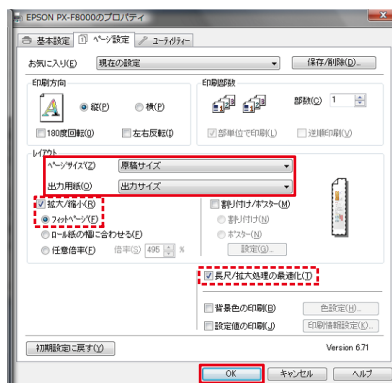
ここでは、Wordで作成した原稿のサイズを設定する。[用紙サイズ名]に「原稿サイズ」と入力し、[用紙幅:122mm]と[用紙長さ:500mm]を入力。[保存]をクリック。

Step6



[Step5]と同様に、印刷する用紙サイズを設定する。[用紙サイズ名]に「出力サイズ」と入力し、[用紙幅:610mm]と[用紙長さ:2500mm]を入力。[保存]⇒[OK]をクリックし、[ページ設定]タブをクリック。

Step7



[ページサイズ]から[原稿サイズ]を選択し、[出力用紙]から[出力サイズ]を選択する。[拡大/縮小]の[フィットページ]が自動で選択され、設定した原稿サイズに対して、自動的に拡大/縮小率が設定される。[長尺/拡大処理の最適化]にチェックが付いているのを確認したら、[OK]をクリックし、印刷を実行する。

2. PowerPointで垂れ幕を作る

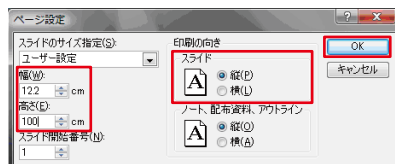
使用ソフト: PowerPoint

A1ノビ(24インチ/610mm)幅のロール紙で、長さ5m(5000mm)の垂れ幕を作る手順を紹介します。PowerPointでは、実寸の5分の1に縮小した原稿を作成します。

※手順、画面は、Windows Vistaの場合。

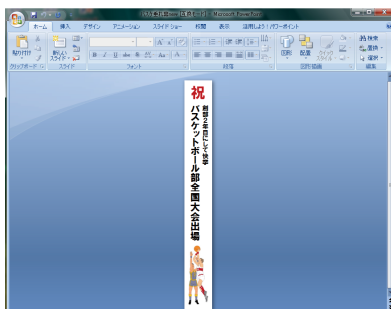
項目	設定値
[幅]	A1ノビ(610mm)の5分の1=12.2cm(122mm)
[高さ]	5m(5000mm)の5分の1=100cm(1000mm)

Step1



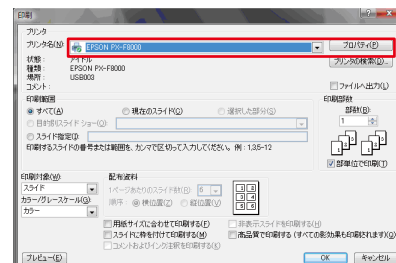
[デザイン]タブをクリック。[ページ設定]を選び、[幅]と[高さ]を設定する。今回は、[幅:12.2cm][高さ100cm]に設定。[印刷の向き]の[スライド]で[縦]が選択されていることを確認し、[OK]をクリック。

Step2



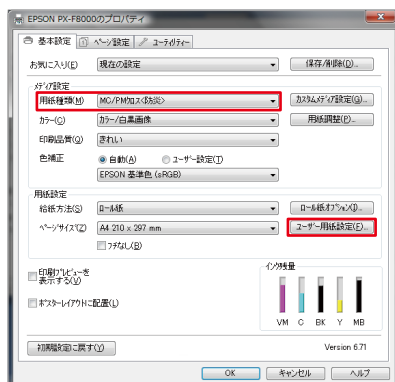
PowerPointで原稿を作成する。今回は、学校に掲示する「祝バスケットボール部全国大会出場」の垂れ幕を作成した。

Step3



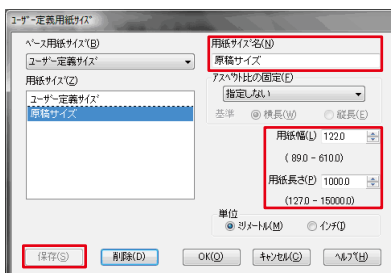
[オフィスボタン]から[印刷]をクリック。設定画面の[プリンタ名]から、使用しているMAXARTを選び、[プロパティ]をクリック。

Step4



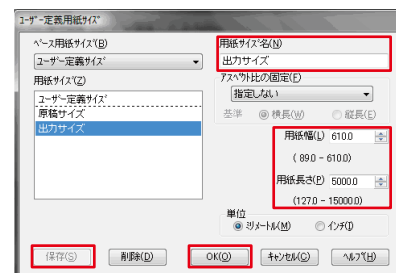
プリンタードライバーの設定画面が表示されたら、[基本設定]画面で[用紙種類]からプリンターにセットした用紙を選び、[ユーザー用紙設定]をクリック。

Step5



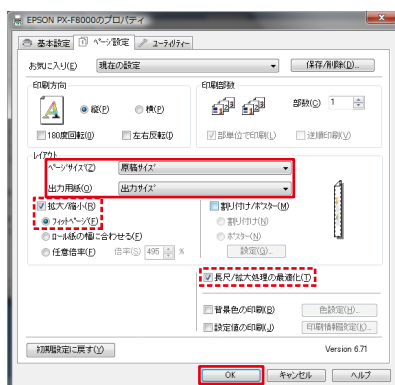
ここでは、PowerPointで作成した原稿のサイズを設定する。[用紙サイズ名]に「原稿サイズ」と入力し、[用紙幅:122mm]と[用紙長さ:1000mm]を入力。[保存]をクリック。

Step6



[Step5]と同様に、印刷する用紙サイズを設定する。[用紙サイズ名]に「出力サイズ」と入力し、[用紙幅:610mm]と[用紙長さ:5000mm]を入力。[保存]⇒[OK]をクリックし、[ページ設定]タブをクリック。

Step7



[ページサイズ]から[原稿サイズ]を選択し、[出力用紙]から[出力サイズ]を選択する。[拡大/縮小]の[フィットページ]が自動で選択され、設定した原稿サイズに対して、自動的に拡大/縮小率が設定される。[長尺/拡大処理の最適化]にチェックが付いているのを確認したら、[OK]をクリックし、印刷を実行する。

3. Excelで横断幕を作る

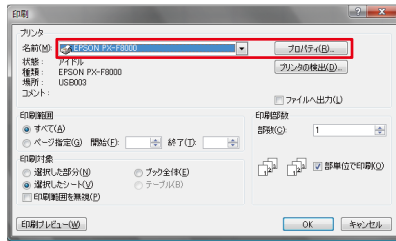
使用ソフト:Excel

A1ノビ(24インチ/610mm)幅のロール紙で、長さ5m(5000mm)の横断幕を作る手順を紹介します。Excelでは、実寸の5分の1に縮小した原稿を作成します。

※手順、画面は、Windows Vistaの場合。

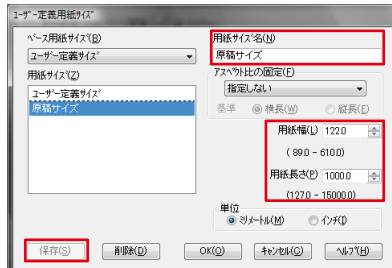
項目	設定値
[幅]	A1ノビ(610mm)の5分の1=122mm
[高さ]	5m(5000mm)の5分の1=1000mm

Step1



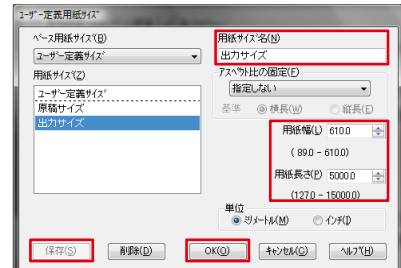
Excelでは先に、「作成する原稿のサイズ」と「印刷する用紙のサイズ」を設定する。Excelの[オフィスボタン]から[印刷]をクリック。設定画面の[プリンタ名]から、使用しているMAXARTを選び、[プロパティ]をクリック。

Step2



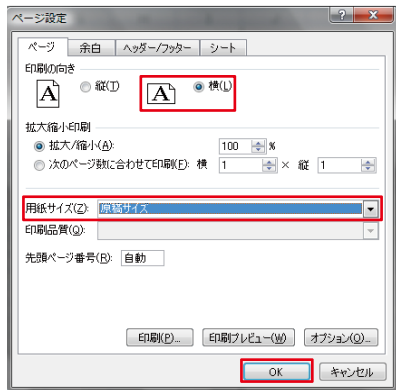
プリンタードライバーの設定画面が表示されたら、[基本設定]画面で[ユーザー用紙設定]をクリックし、Excelで作成する原稿のサイズを設定する。[用紙サイズ名]に「原稿サイズ」と入力し、[用紙幅:122mm]と[用紙長さ:1000mm]を入力。[保存]をクリック。

Step3



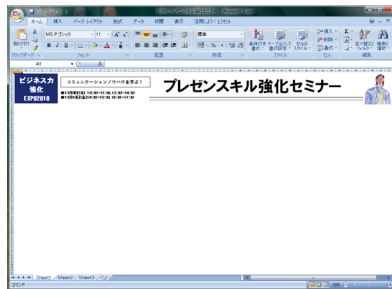
「Step2」と同様に、印刷する用紙サイズを設定する。[用紙サイズ名]に「出力サイズ」と入力し、[用紙幅:610mm]と[用紙長さ:5000mm]を入力。[保存]⇒[OK]をクリック。[プロパティ]画面で[OK]⇒[印刷]画面で[閉じる]をクリック。

Step4



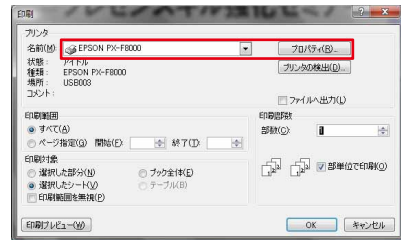
[ページレイアウト]タブをクリックし、[サイズ]から[その他の用紙サイズ]を選ぶ。[ページ]画面の[印刷の向き]で[横]にチェックを入れ、[用紙サイズ]から「Step2」で設定した「原稿サイズ」を選択。必要に応じて、その他の項目も設定し、[OK]をクリック。

Step5



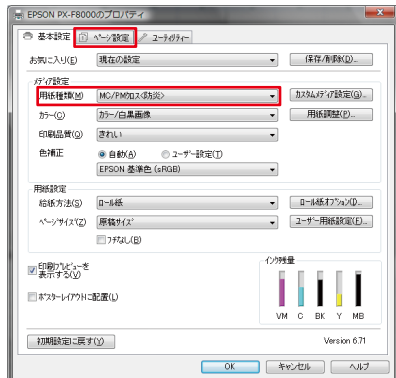
Excelで原稿を作成する。今回は、展示会のセミナー会場に掲示する「プレゼンスキル強化セミナー」の横断幕を作成した。

Step6



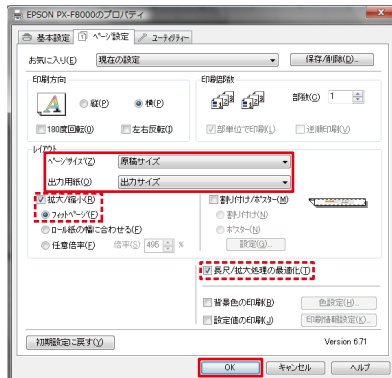
[オフィスボタン]から[印刷]をクリック。設定画面の[プリンタ名]から、使用しているMAXARTを選び、[プロパティ]をクリック。

Step7



[基本設定]画面で[用紙種類]からプリンターにセットした用紙を選び、[ページ設定]タブをクリック。

Step8



[ページサイズ]で「原稿サイズ」を、[出力用紙]で「出力サイズ」を選択。[拡大/縮小]の[フィットページ]が自動で選択され、設定した原稿サイズに対して、自動的に拡大/縮小率が設定される。[長尺/拡大処理の最適化]にチェックが付いているのを確認したら、[OK]をクリックし、印刷を実行する。

長尺印刷対応ソフトで「垂れ幕」を作ってみよう

「長尺FACTORY」を使えば、初めての人でも簡単に横断幕・垂れ幕が作れます。フレームパターンやイラスト、装飾文字などの素材が豊富に収録されており、ナビゲーションに沿って進めるだけで、横断幕・垂れ幕が完成。長尺印刷時の細かな用紙設定も必要なく、簡単操作で最大15mまでの長尺印刷が可能です。ここでは、「長尺FACTORY」を使った垂れ幕の作成手順を紹介します。

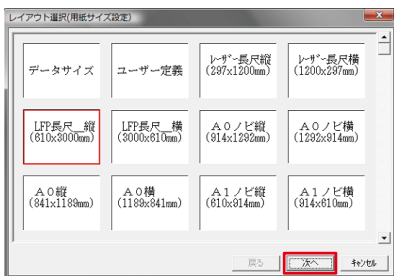
使用ソフト：長尺FACTORY

Step1:作成方法を選ぶ



「長尺FACTORY」を起動して、[ウィザードで作成する]をクリックする。

Step2:用紙サイズを選ぶ



[レイアウト選択(用紙サイズ設定)]画面で用紙サイズを選ぶ。今回は、[LFP長尺_縦(610×3000mm)]を選択する。[次へ]をクリック。

Step3:フレームを選ぶ



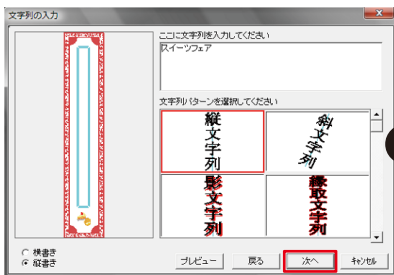
[フレーム選択]画面で使用したいフレームを選び、[次へ]をクリック。

Step4:素材を選ぶ

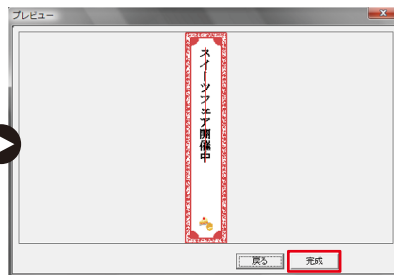


[パーツ選択]画面で、使用したいイラストなどを選び、[次へ]をクリック。

Step5:文字列のデザインを選び、文字を入力する

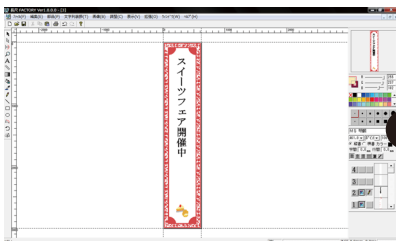


[文字列の入力]画面で、垂れ幕の内容にあわせて文字を入力。「影文字」や「緑取り文字」も選択できる。[次へ]をクリック。

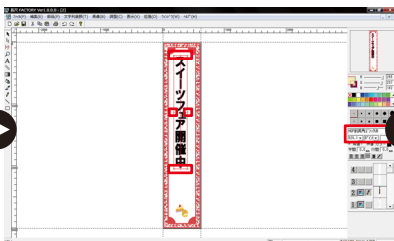


[プレビュー]画面で確認して、OKなら[完成]をクリックする。

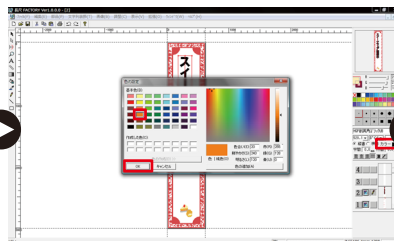
Step6:レイアウトを整える



これまでに選んだ素材や文字が配置された画面が開く。この画面で、文字やイラストの追加・レイアウト調整などを行う。



文字列を選択し、画面右側で文字サイズやフォントを調整する。文字サイズの調整は、文字列の周りにある□をドラッグするのでも良い。

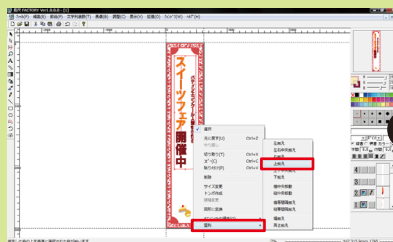


画面右側の[カラー]の■をクリックすると、[色設定パレット]が表示されるので、任意で色を選択し、文字色を変更する。

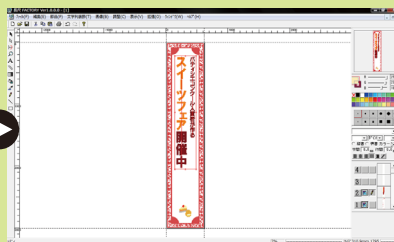
ワンポイントアドバイス

簡単操作でオブジェクトを整列

複数の文字列やイラストを上下・左右・中央に整列させたり、文字列やイラストを用紙の中央に配置させたりするのも、「長尺FACTORY」なら簡単です。右の図では、2つの文字列を上揃えて整列する手順をご紹介します。

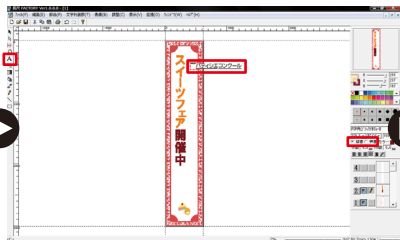


整列させたい2つの文字列を[Shiftキー]を押しながら選択し、右クリック。[整列]から[上揃え]を選択する。

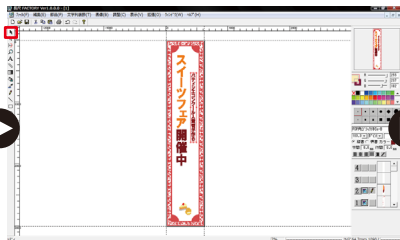


[上揃え]で整列される。その他の位置に整列・配置したい場合にも、同様に選択し、右クリックメニューから選ぶだけでOK。

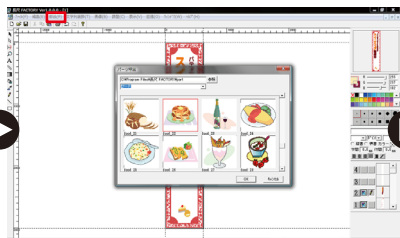
Step6: レイアウトを整える



画面左側の[A]を選択し、用紙内でクリックして文字列を追加する。画面右側の[縦書] [横書]を任意で設定する。



画面左側の[↑]を選択してから、追加した文字列のフォント、文字間、文字色などを調整する。

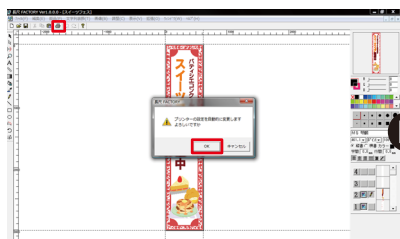


[部品]メニューから[画像のパーツ呼出]を選択し、イラストや装飾文字を適宜追加する。

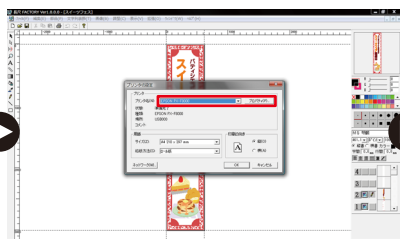


文字やイラストの配置、大きさなどを調整し、レイアウトを整える。

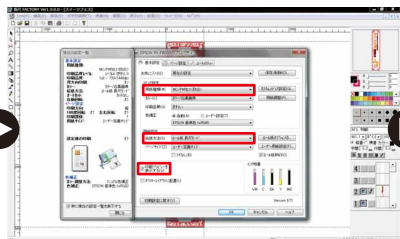
Step7: 印刷する



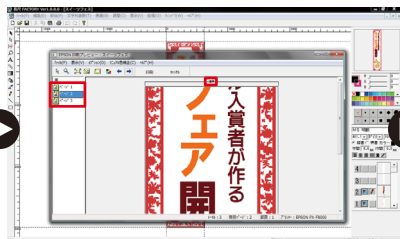
画面上部から[印刷]ボタンを選択し、[プリンターの設定を自動的に変更します]のメッセージが表示されたら、[OK]をクリック。



設定画面の[プリンタ名]から、使用しているMAXARTを選び、[プロパティ]をクリック。



[基本設定]画面の[用紙設定]で[ロール紙 長尺モード]が選択されているのを確認し、[用紙種類]など必要な項目を設定する。



[印刷プレビュー]画面上では、3ページに分割されて表示されるが、[ロール紙 長尺モード]が選択されていれば、1枚の用紙に連続印刷される。



[印刷]をクリックすると、作成した垂れ幕がMAXARTから印刷される。

※印刷する際には、あらかじめ、プリンター本体でも用紙設定をしておくとう安心です。

Step8: 完成



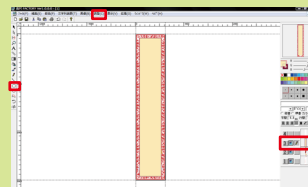
Step9: 活用イメージ



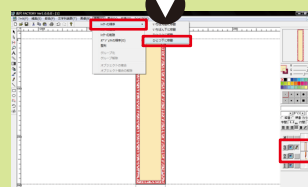
ワンポイントアドバイス

レイヤーを活用し、作業効率アップ

「長尺FACTORY」でウィザードから作成する場合、フレームは「レイヤー1」に、文字やイラストは「レイヤー2」に振り分けられるよう設定されています。選択しているレイヤーだけが編集可能なため、下図のように、後から背景に色を設定したい場合などにも、効率的に作業できます。



[調整]メニューから[レイヤーの追加]を選択すると、画面右側に[レイヤー3]が表示されるので、これを背景色用のレイヤーにする。画面左側で[矩形]ツールを選択し、用紙内をドラッグして四角を作成、色を変更する。



[レイヤー3]が選択されている状態で、[調整]メニューの[レイヤーの順序]から[ひとつ下に移動]を選択。



[レイヤー3]と[レイヤー2]が入り替わり(画面右側)、文字やイラストを配置したレイヤーが最前面に表示される(画面中央)。

横断幕・垂れ幕はインパクトがあり、訴求効果も高いものです。活用シーンも幅広く、小売店や展示会場、役所、学校、公共施設など多様な場所で、情報発信ツールとして利用されています。サイズが大きいので内製するのは困難だと思われがちですが、ここで紹介したように、非常に簡単に作成できるものなのです。シンプルなデザインの方が見やすく、訴求ポイントが端的に伝わるので、初心者でもトライしやすいツールだと言えます。また、バナースタンドやバナーホルダーなど、様々なディスプレイ用品が市販されているので、印刷した横断幕や垂れ幕は、これらを上手に利用して掲示するといいいでしょう。まずは、オリジナル横断幕・垂れ幕づくりにチャレンジし、旬の情報発信にお役立てください。



長尺FACTORY

EPSLF
¥39,800 (標準価格/税別)

<http://www.epson.jp/products/maxart/software/popfactory.htm>

まとめ! オリジナル横断幕・垂れ幕づくりの極意

1. 用途や訴求ポイントを明確にする

イベントやセール、新店舗オープンの告知など、「何を」「どこで」伝えるのかを、まずは明確にします。掲示場所によって、当然、「伝えたい相手(ターゲット)」は変わってくるはずです。訴求ポイントは一点に絞り、ターゲットに響くメッセージを考えましょう。

2. シンプルなデザインで、情報を端的に伝える!

“より遠くから”より多くの人に“伝えるのに効果を発揮する横断幕・垂れ幕は、シンプルに、文字を中心に、デザインするのがポイントです。ロゴやイラストを入れる場合にも、「文字で伝える」ことを念頭に置き、文字と少し離して配置します。

3. 遠くからでもひと目で伝わる“文字の見せ方”を意識する

訴求ポイントを“ひと目で伝える”ためには、文字量は少なめに、地の色とコントラストの高い色を選んで、大きく配置します。さらに、イベント名などの「一番伝えたい情報」と「補足情報」とは、文字サイズや色味に強弱をつけて、メリハリを出すのも大切です。

4. 複数本掲示することでインパクトを強める!

見る人に強いインパクトを与える横断幕・垂れ幕は、複数本並べて掲示することで、より訴求効果が高まります。また、各々の横断幕・垂れ幕に見る人の意識が向くように、隣接するもの同士、文字色や地の色に変化をつけるなど、全体のバランスを考えてデザインしましょう。

5. “新鮮さ”をアピールし、訴求効果を高める!

鮮度の高い情報には、見る人を惹きつける力があります。反対に、「汚れ」や「色あせ」といった古さを感じさせるものや、情報自体が古いものを掲示しては、逆効果です。こまめに新しいものに張り替えるなどして、“新鮮さ”をアピールすることを常に心がけましょう。

バナー・横断幕作成セットモデル PX-F8KL

¥318,000 (標準価格/税別)

初心者でも横断幕・垂れ幕を思い通りに作成できる。急なイベント開催にもすぐに対応!



PX-F8000



長尺FACTORY



MC/PMクロスロール (防炎) 1本

製品のご購入に関するお問い合わせ

エプソンプリンター購入ガイドインフォメーション

TEL:050-3155-8100 (KDDI光ダイレクト) 受付時間:9:00~17:30/月~金曜日(祝日・指定休業日を除く)

<http://www.epson.jp/support/maxart/info.htm#guide>